

金沢大学での育児施設・サービス検討のためのアンケート 回答結果と検討状況

<アンケート実施概要>

【実施期間】

令和7年5月21日（水）から令和7年6月20日（金）まで

【調査対象】

金沢大学の0歳～12歳（小学生）までのお子様がいる教職員（非常勤を含む）・学生

【回答方法】

Microsoft Formsから回答

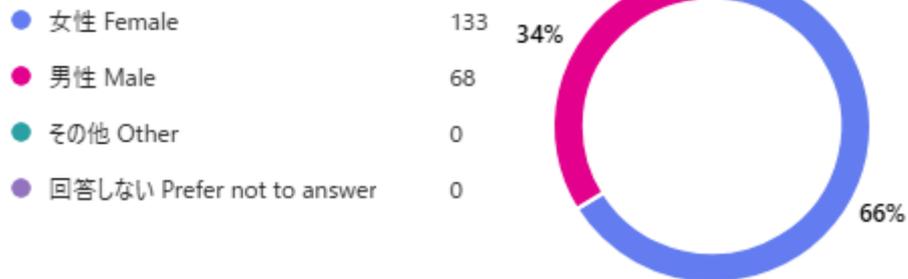
【回答数】

201件（宝町・鶴間：66件，角間・平和町・東兼六等：135件）

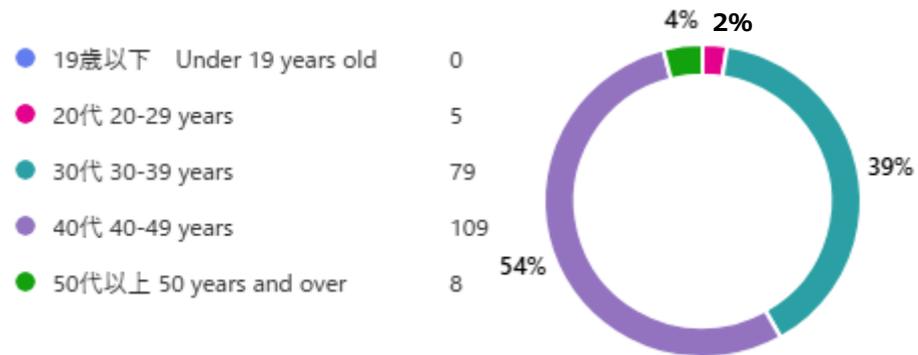


金沢大学ダイバーシティ推進機構

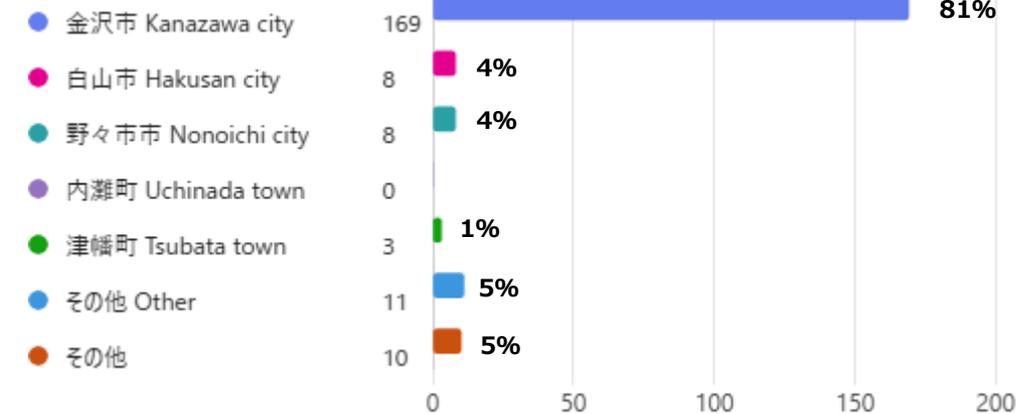
■ 性別を教えてください。



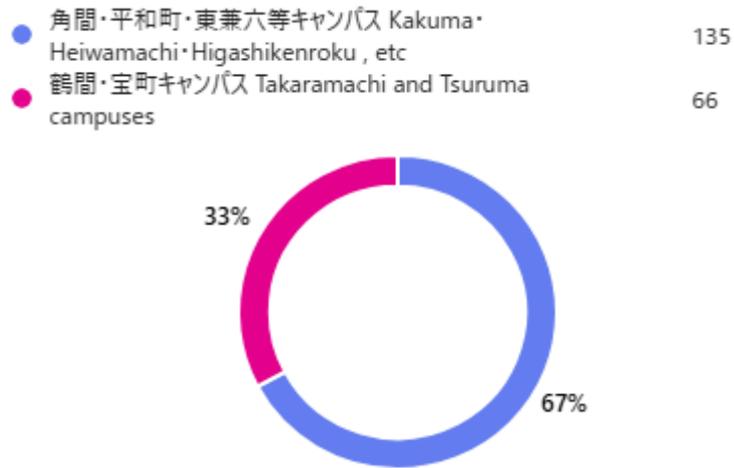
■ 年齢を教えてください。



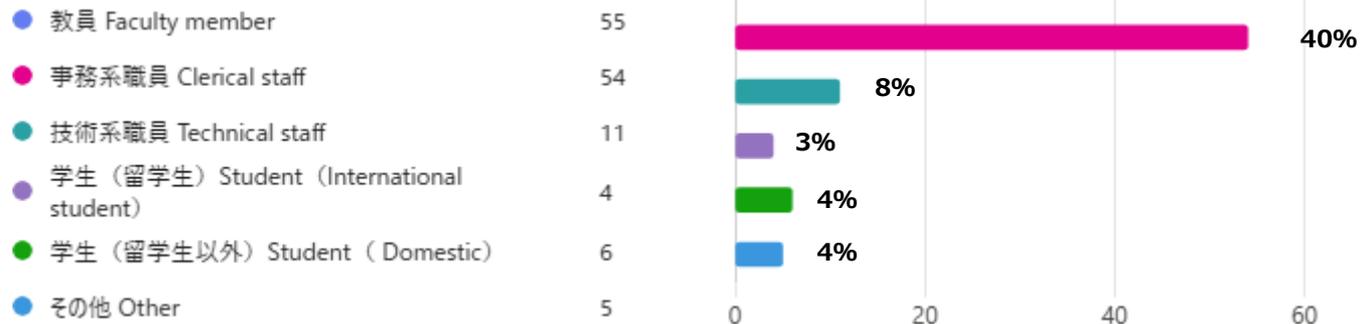
■ 居住地を選択してください。



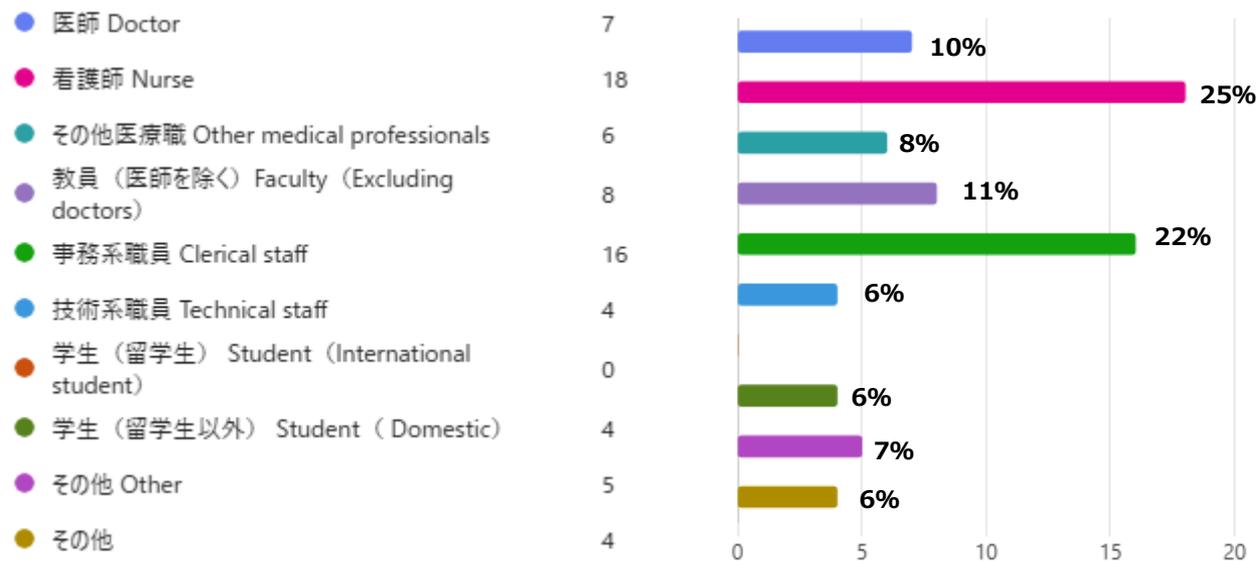
■ 勤務しているキャンパスを選択してください。



■ 職種を選択してください。

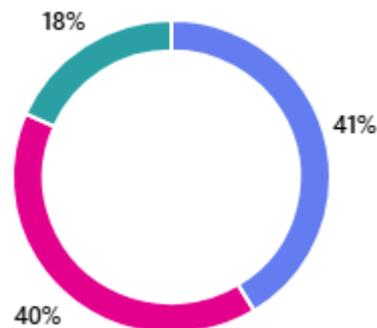


■ 職種を選択してください（鶴間・宝町キャンパス回答者のみ）。

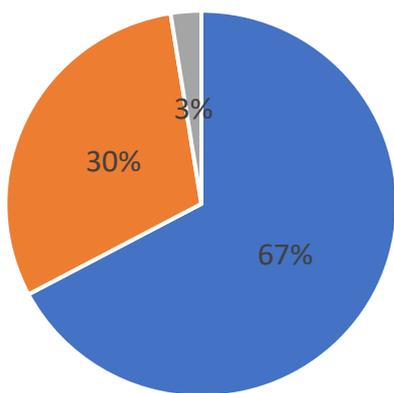


■ お子様の年齢を選択してください。

- 0～6歳（小学校入学前） 0-6years old(not yet in elementary school) 83
- 6～12歳（小学生） 6-12years old (Elementary school student) 81
- 0～6歳（小学校入学前）と6～12歳（小学生）の両方 Both 0-6 years old(not yet in elementary school) an... 37

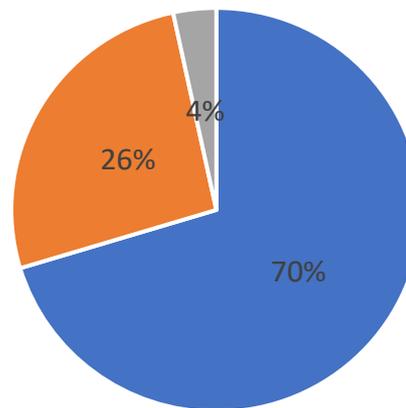


■ 0～6歳（小学校入学前）のお子様の人数を選択してください。



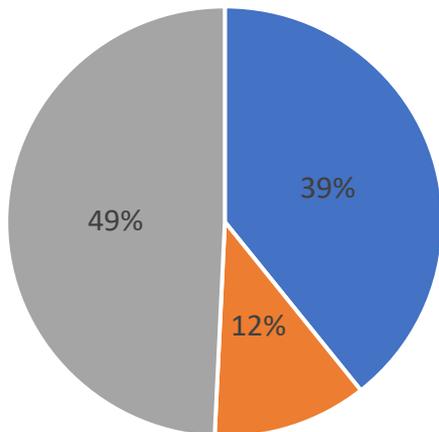
■ 1名 ■ 2名 ■ 3名 ■
80 36 3

■ 6～12歳（小学生）のお子様の人数を選択してください。



■ 1名 ■ 2名 ■ 3名 ■
83 31 4

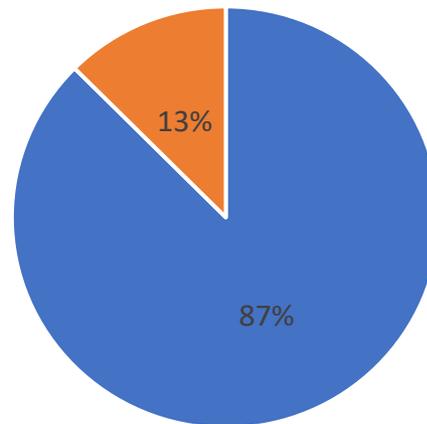
■ ご家族やご親戚、ご近所の方など、
 周囲の方から 日常的に育児のサポートを受けられる
 環境にありますか？



- サポートを受けている、またはサポートを受けられる環境にある **79**
- サポートを受けられる環境にあるが、サポートは受けていない **23**
- サポートを受けられる環境がなく、サポートは受けていない **99**

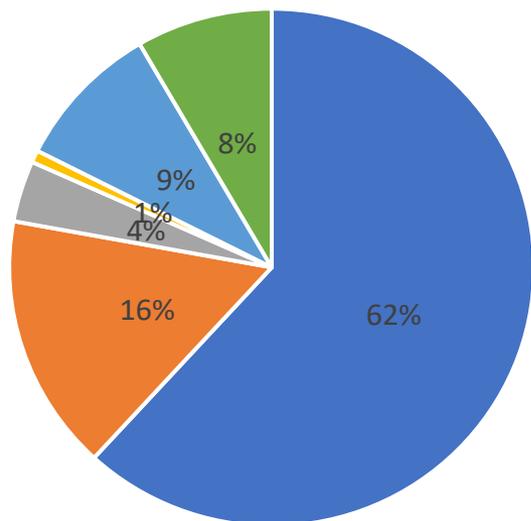
■ 現在以下のような有料の育児施設やサービスを利用していますか？

- ・保育園 ・幼稚園 ・一時保育 ・ベビーシッター
- ・ファミリーサポート、その他外部の育児施設やサービス



- 利用している **105**
- 利用していない **15**

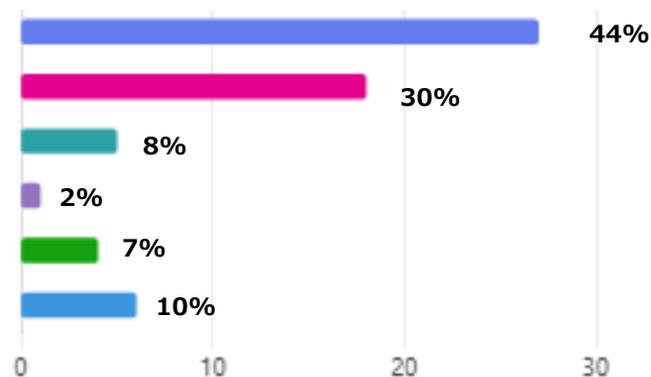
■ 現在利用している育児施設やサービスを以下の中から選択してください。



■ 保育園 81 ■ 幼稚園 21 ■ 一時保育 5
 ■ ベビーシッター ■ ファミリーサポート ■ その他

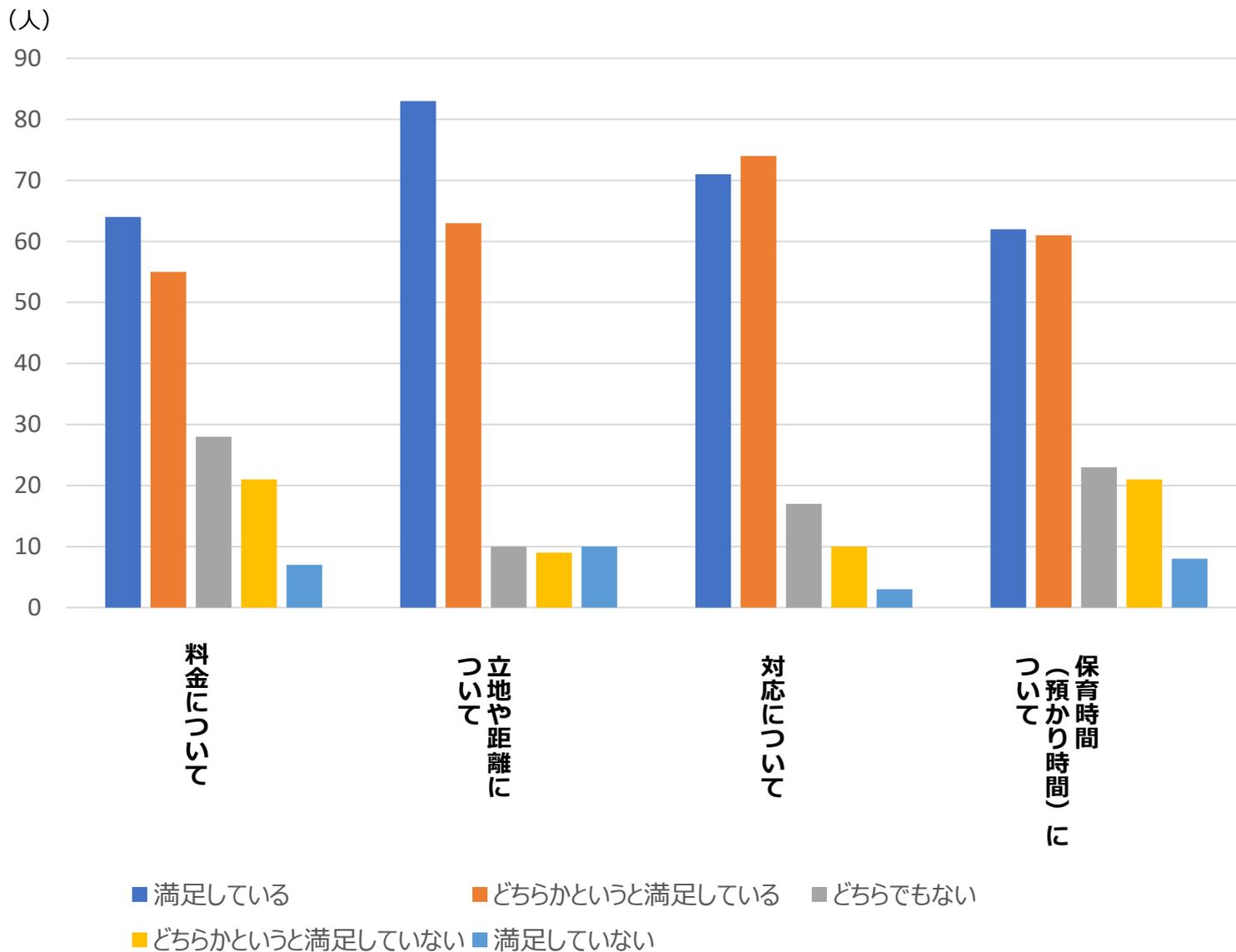
1 12 11

■ 以下の中から現在利用しているものを選択してください。

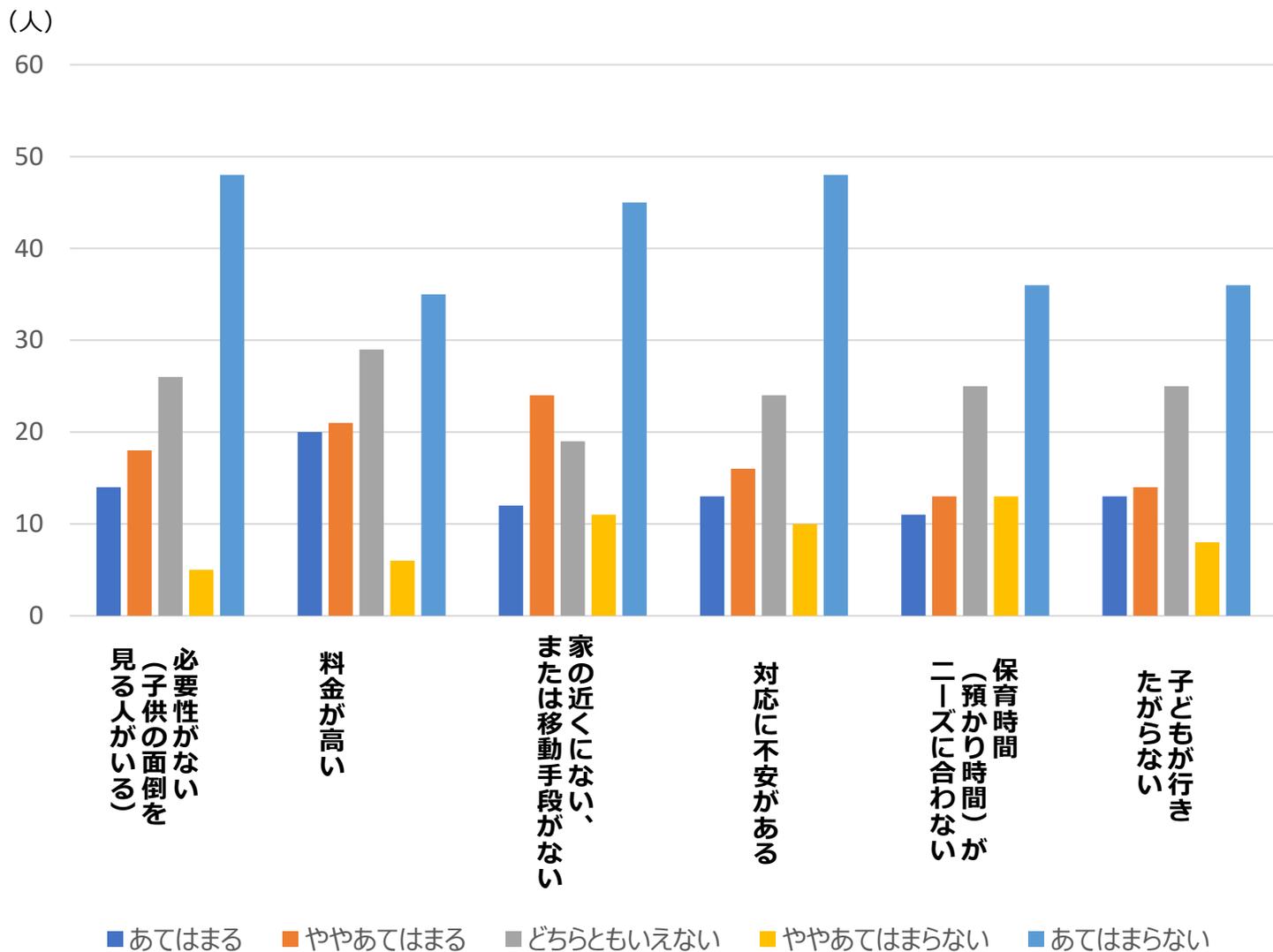


● 学童保育 (公営) After-school program (publi... 27
 ● 学童保育 (民営) 18
 ● ファミリーサポート Family support 5
 ● キッズシッター Babysitter 1
 ● その他 Other 4
 ● その他 6

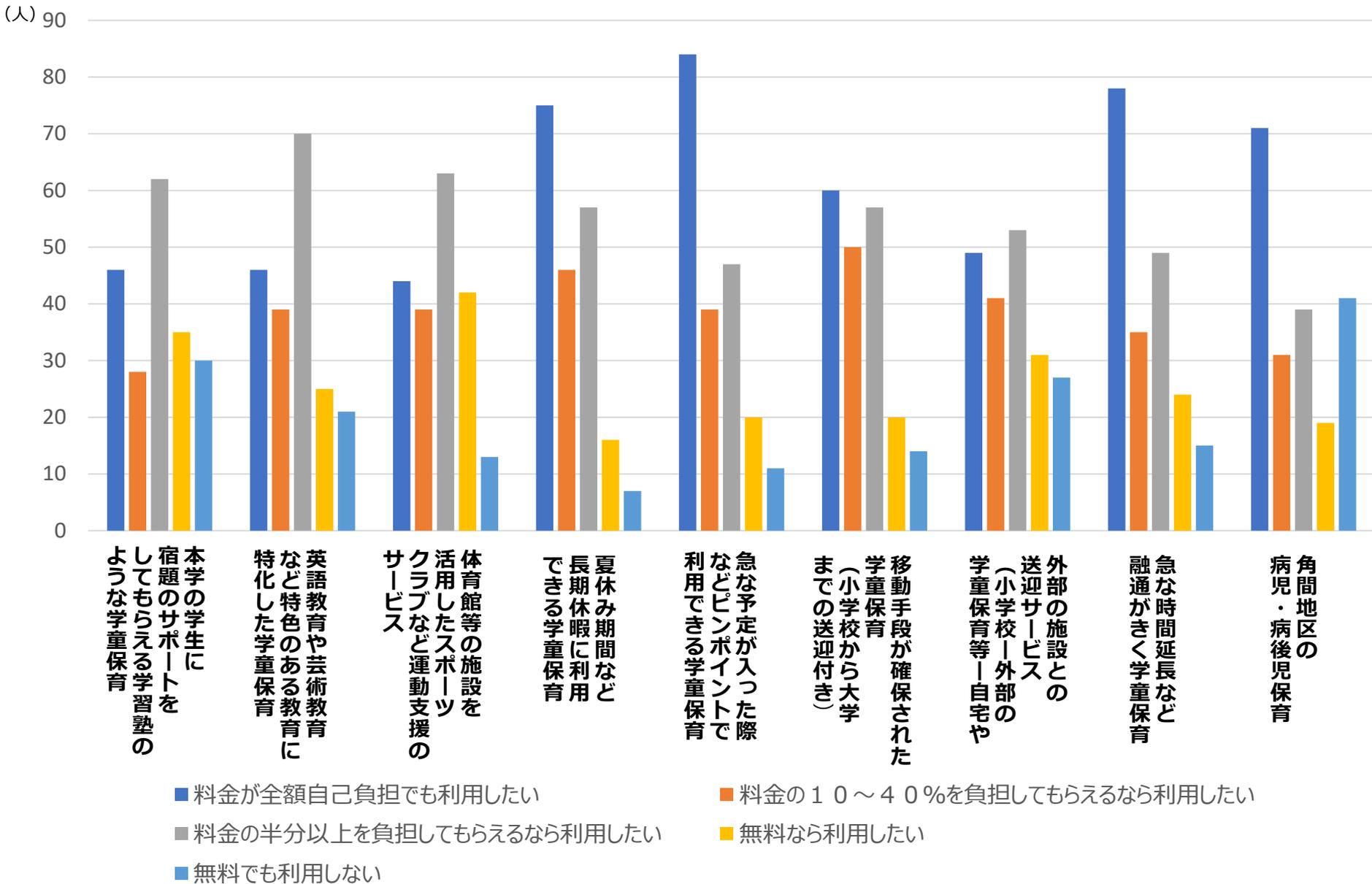
■ 現在利用している施設やサービスについて、満足度を5段階で選択してください。



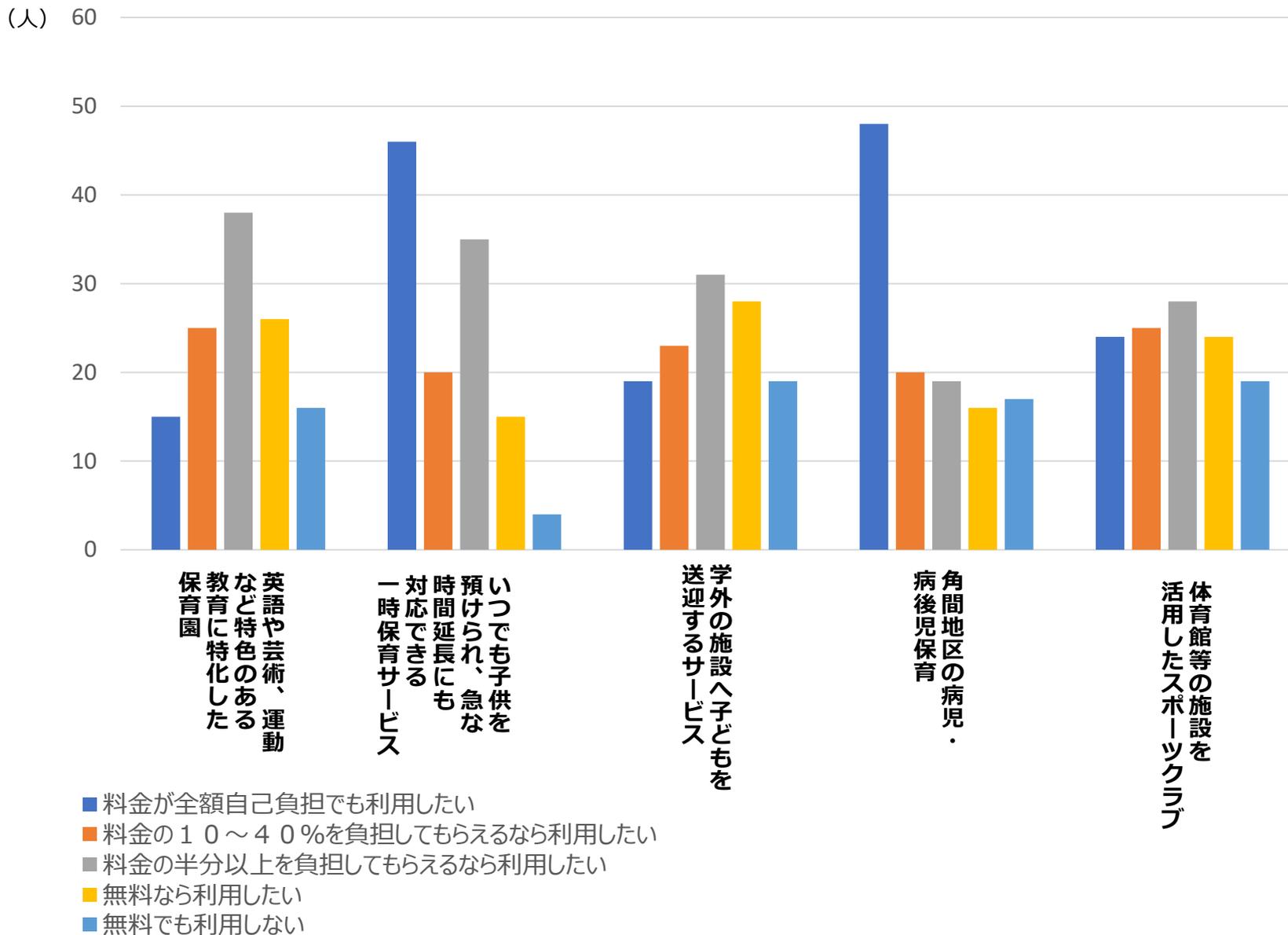
■ 育児施設やサービスを利用していない理由について、5段階で回答してください。



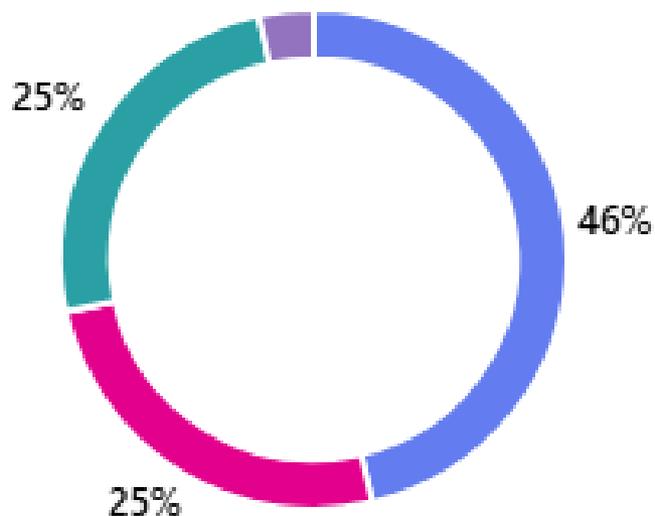
■ 施設やサービスについて、学内にあった場合に利用したいと感じるかどうかをそれぞれ5段階で回答してください。



■ お子様向けの施設やサービスについて、学内にあった場合に利用したいと感じるかどうかをそれぞれ5段階で回答してください



■ 今後育児施設・サービスの展開を検討するにあたり、あなたの考えに最も近いものを選択してください。



- 学内者限定で利用できるような育児施設やサービスを新たに学内に作ってほしい I hope new childcare facilities and... 93
- 学内者だけでなく、外部の方も利用できるような施設やサービスを新たに学内に作り、地域との交流も図れるような環... 51
- 学内に新たな施設等をつくるよりも、既存の育児施設やサービス（外部のもの）が利用しやすくなるような支援を充実... 50
- 特に学内での育児支援は必要ない There is no particular need for on-campus childcare support 7

(1) アンケート結果まとめ

アンケートでは、「現在利用している施設やサービスについて、満足度を5段階で選択してください。」という質問に対し、8割以上が「満足している」もしくは「どちらかと言うと満足している」を選択しました。

また、「施設やサービスについて、学内にあった場合に利用したいと感じるかどうかをそれぞれ5段階で回答してください。」という質問については、「夏休み期間など長期休暇に利用できる学童保育」、「急な時間延長やピンポイントでの利用に対応してくれる学童保育」、「角間地区の病児・病後児保育」の項目で「料金が全額自己負担でも利用したい」という回答が多数寄せられ、学内での設置を検討すべきことが分かった。

「今後育児施設・サービスの展開を検討するにあたり、あなたの考えに最も近いものを選択してください。」という質問では学内者限定で利用できる施設を充実させてほしいという意見が大多数であったが、学内に限定せず地域の交流も図れる施設をつくってほしい、新たに作るよりも既存のシステムを利用しやすいように充実させてほしいという回答も一定数あり、今後拡充を検討する育児サービスの存在意義についても明確にする必要があることを認識しました。

(2) アンケート結果に基づく、ご意見・ご要望の分析

アンケートに寄せられたコメントから、回答にご協力いただいた皆様のご意見やご要望を大きく4つにカテゴライズさせていただきました。これらのご要望に対するダイバーシティ推進機構での検討状況について、次ページ以降に掲載します。

- (1) 夏休み期間中や土日に子供を預けられる施設（学童など）を学内につくってほしい。
- (2) 育児施設やサービスを積極的に利用したいが、金銭的負担が多く、利用をためらってしまう。
- (3) 保育園・学童の送迎や預かり時間の融通が利かず、育児と業務の両立が難しい。
- (4) 学内の病児保育を充実させてほしい

ご意見・ご要望①

夏休み期間中や土日に子供を預けられる施設（学童など）を学内につくってほしい。

【アンケートに寄せられたコメント抜粋】

- ・夏休み期間（7月下旬～8月末（できればサマータイム期間））に利用できる学童保育施設を、ぜひ作っていただきたいです。
- ・夏期、冬期、春期に子供を預かっていただきたい。
- ・高学年になって近所の学童をやめた場合でも、夏休みなどの長期休業期間に預かってもらえる場があると助かると思います。送迎があるとより助かります。
- ・長期休みの学童は本当に欲しいです!!!!低学年だけでも！
- ・プログラミング教室や科学実験教室など、理系分野に興味を持つきっかけを作る教育を受けられるサービス。
- ・週末、祝日の保育を学内で実施してもらえると大変ありがたいです。

検討状況

ご回答いただいた皆様より、「夏休み期間中に学童を開設してほしい」というご意見を多数いただきました。本機構としても皆様のご要望に可能な限り対応させていただきたく、試行的ではございますが、**夏休みの一定期間【令和7年8月20日（水）～8月29日（金）（土日を除く8日間）】で角間キャンパス内に学童保育を設置させていただくことになりました。**

「学童を開設する場合は大学独自のプログラムも体験できたらよい」というご要望も一定数いただきましたので、**学童のプログラムとして「学生による夏休みの宿題のお手伝い」や「絵本読み聞かせ、「本学教員によるアートワークショップ」、小学生向けの科学実験」も実施予定**です。

詳細につきましてはアカンサスポータルのメッセージ「夏休み期間中の学童保育の設置（試行）について（通知）」をご確認ください。

皆様からのお申込み、お待ちしております！

ご意見・ご要望②

育児施設やサービスを積極的に利用したいが、金銭的負担が多く、利用をためらってしまう。

【アンケートに寄せられたコメント抜粋】

- ・質の高いサービスは料金が高く、継続して利用することは金銭的に不可能である。
- ・未満児なので料金が家計の負担になっている。
- ・公営の学童はなかなか入れなかったり、預かり時間や縛りが多く負担が大きかったため民営へ変更しましたが、料金が嵩むため長くは利用できないと思っている。
- ・学童保育に預けているが、利用時間が少ない割に料金が高く、延長料金も保育園より高い。
- ・早朝や夕方以降は加算性のため経済的負担が大きい、夏季、冬季、春季の長期休暇の料金が高い。

検討状況

本学では仕事・子育て両立支援策の一環として、ベビーシッター利用料金の一部を助成する、**ベビーシッター利用料金割引事業**を実施しております。支援内容は本学の教職員を対象にベビーシッターサービス利用時の割引券を発行するというもので割引金額は1日(回)最大2,200円×2枚の割引(対象児童一人につき)となっております。乳幼児～小学6年生と幅広い年齢層のお子様にご利用できますので、ぜひご利用ください。(※承認事業主の限度枚数や予算の関係で、上限に達した場合は締め切ることがあります。)

また育児サービスを利用する(料金を払う)までいかないが、子供と一時的に気軽に過ごせる学内スペースをお求めの場合は、ぜひ**あざみルーム**をご利用ください。角間キャンパス南地区に加え、令和6年度には角間キャンパス**北地区人間社会2号館**にもお部屋を増設いたしました。また保育園の入園前もしくは預け先がなく、どうしてもお子様を連れて大学でお仕事をしなければならない場合などには**ベビーベッド**の貸出を行っていますので、ぜひご利用ください。微々たる支援ではございますが、上記のような既存の学内支援制度をご活用いただき、少しでも学内教職員の皆様の育児に関する経済的負担を軽減できれば幸いです。本機構でも育児サービスの助成ついて引き続き検討いたします。

※本機構の各種育児支援制度の詳細につきましては下記のURLをご参照ください

URL : <https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/work>

ご意見・ご要望③

保育園・学童の送迎や預かり時間の融通が利かず、育児と業務の両立が難しい。

【アンケートに寄せられたコメント抜粋】

- ・希望（自宅付近）の保育園/幼稚園、学童に入れず、数km先の施設に通っているため不便。
- ・長男と次男とで通園先が異なり、送迎が大変。
- ・平日の習い事が送迎できないため、宿題を見てくれたり、学童ついでに何かを教えてくれたりするとありがたい。
- ・夏季休業期間など長期休暇の時は通常の預かり時間と異なるため、送迎が間に合わない。
- ・急な依頼がしにくい。

（勤務時間に関するご要望）

- ・始業と終業時間が通園先の預かり時間と合わず、送迎を急かされる。習い事があるとさらに送迎が大変。
- ・時短勤務を小学校低学年まで延長してほしい。
- ・もっと在宅勤務が認められる空気を作ってほしい。
- ・在宅勤務を月に4回まで、などの制限つきで可能にしてほしい。
- ・あらたな施設の前に、勤務を土日や他の時間も許可制で認めていただけると、夫と時間をずらし勤務ができるためありがたいです。サマータイムは非常に時短勤務をしながら、勤務しやすい。



検討状況

「定員オーバーにより希望の保育園や学童に入れず、送迎が負担になっている」や「本学の始業/終業時間と育児施設の預かり時間がことなるため送迎が間に合わない」というご意見を一定数いただき改めて検討の必要性を認識いたしました。育児中の労働者の柔軟な働き方実現のための措置については、育児介護法改正の内容にも組み込まれているため、人事労務課で引き続き検討してまいります。

本学の育児中の方を対象とする始業時刻等については、育児期の柔軟な働き方を実現するため、就業規則等の見直しを予定しております。

ご意見・ご要望④

学内の病児保育を充実させてほしい。

【アンケートに寄せられたコメント抜粋】

- ・子どもが急に体調を崩すことが多いため、実験を中断せざるを得ない状況が頻発している。その度に仕事を数日間休まなければならないのが現状。
- ・病児保育は自宅から遠く、通うのがなかなか難しい。
- ・病児保育は、病院職員の場合、近くの入口から入れるが、教員の場合は正面玄関から入ることになるので、遠くて大変。
- ・仕事を中断し急に迎えに行かないといけない、発熱のたびに呼び出されるため業務に集中できない。
- ・病児保育は金額が高い。
- ・障害のある子ども（発達障害など）を預けられる施設があるとうれしい
- ・病児・病後児保育が附属病院だけでなく角間等にもあると助かる方が多いかと思います。
- ・病院外宝町地区での病児・病児後保育があるとうれしい。
- ・急な病気・怪我をした際の、学内での病児保育制度。例えば、在宅ワークでの重要な打ち合わせなどが子供の面倒を見ながらしづらいことや、実験室での対応がどうしても必要なタイミングなど、病児保育でのあいだでもどうしても外せないタイミングだけを依頼する、スポット型病児保育があると嬉しいと感じます。
- ・保育園で熱発し、すぐに迎えや病院に行けない時に預かってくれる施設。
- ・病児保育の受け入れ人数の増加、定員がいっぱいで断られてしまう。
- ・病院の病児保育の枠を増やして欲しい。宝町に学童のような施設があると良い。特に長期休暇。



検討状況

本機構の中でも打ち合わせを実施し、病児保育を新設するにあたり、有資格者（病児保育士）の確保のや緊急時のリスクマネジメントなど、附属病院から離れた角間に医療施設に相当する病児保育を設置する難しさを認識しております。今後も課題点の洗い出しを行い、実現の余地を模索してまいります。附属病院内に設置している病児保育室「たんぼぱルーム」の定員増につきましても、自治体への届け出をはじめ、運営にかかわる人員の確保等、多機関にまたがる調整が必要となるため、各現場の負担（人手不足等）も考慮しながら慎重に検討してまいります。

その他、様々なご意見・ご要望をいただきましたので、ご紹介いたします。

【アンケートに寄せられたコメント抜粋】

- ・子どもが土日や雨天でも遊べるスペースを作ってほしい。
- ・着任時に育児施設に関する情報やサポートを受けたかった。
- ・JSTが帯同する子ども旅費の研究費からの支出を認めているため、支出できるよう整備をしていただきたい。
- ・田上・もりの里エリアには絵画教室や英語教室が少ないので、そのような教室があったら利用したい。
- ・有料でも給食サービスがあると嬉しいです。
- ・色んな施設への入場券、サービス券、特別有給休暇。
- ・研究棟での保育ルームのようなPCなどを作業しながらも保育できるような場所があると、ありがたい。
- ・金沢市在住なのですがファミサポの利用料の負担をおねがいしたいです。
- ・子供が参加できる不定期のイベントがあったらよい(土日含めて)
- ・Opinion: In few cases, I do some necessary work during weekends and I pick up my 4-years old kid. If there is a toilet facility for kids can be used, it would be good.
- ・色々な人と交流してほしいが、事前登録制や事前に親との面談を実施するなど、最低限のマナーやモラルを持った人が使えるような施設にしていきたいです。
- ・子育て中の教職員が安心して働ける環境を整え、地域への貢献を考慮し、金沢大学が率先して学内に育児施設を設置できれば嬉しく思う。
- ・学内のサービスが拡充されても、子どもだけでは小学校や幼稚園から大学まで移動することは困難で、送迎サービスがないと利用できません。送迎を教職員である親が負担するのであれば、わざわざ大学まで送迎しなくても小学校近くの学童や幼稚園の延長保育を利用した方が便利です。
- ・業務のために経済的な負担を抱えていることが理解してもらいたいし、時間内で帰れるように、上位職の方には理解を促してもらいたい。
- ・学内で習い事のようなものがあれば利用してみたく思いました。送迎につきましても考慮いただけましたらなお有難く存じます。
- ・大学に小さい子供達が入ってきていいという宣言をしてもらえるだけでも助かる。
- ・利用者や要望者が少なそうでも、可能そうなものから始めると良いと思います。
- ・もっと在宅勤務が認められる空気を作ってほしい。
- ・ルーチンワークをやれる補佐員配置や講義・委員の免除等、幼児のいる家庭でも十分に頑張れる環境を用意することに対する前向きな空気が欲しいです。トップや幹部に子育て経験のある女性を配置すると良いと思います。

etc...

上記のご意見・ご要望につきましても順次対応を検討いたします！